

2021年9月13日

The Okura Tokyo / 大倉集古館 「日建連表彰 2021 第 62 回 BCS 賞」受賞
継承と革新が織りなす新たな和のモダンとして

主催：一般社団法人日本建設業連合会

株式会社ホテルオークラ東京（所在地：東京都港区、代表取締役社長：成瀬正治）が運営する The Okura Tokyo はこの度、第 62 回 BCS 賞（主催：一般社団法人日本建設業連合会）を受賞いたしました。今回の受賞は、ホテル開業 2 年後（1964 年）の第 5 回、別館開業 2 年後（1975 年）の第 16 回に続く三回目の受賞となります。



BCS 賞は、「優秀な建築物を作り出すためには、デザインだけでなく施工技術も重要であり、建築主、設計者、施工者の三者による理解と協力が必要である」という建築業協会初代理事長竹中藤右衛門の発意により昭和 35 年（1960 年）に創設され、以後、国内の良好な建築資産の創出を図り、文化の進展と地球環境保全に寄与することを目的に毎年、国内の優秀な建築作品の表彰が行われています。第 52 回（2011 年）からは建築業協会の合併に伴い、新団体の日本建設業連合会が表彰活動を引き継いでいます。

出典：（一社）日本建設業連合会公式ウェブサイト

<評価コメント> ～継承と革新が織りなす新・和のモダンの極致ともいえる空間が評価～

緑豊かな公共空間を提供しつつ、複合施設を展開させることを可能にした明確なダイアグラムのもと、細部に至るまで、記憶の継承と現代の革新技術を織りなすことで、新たな和のモダンの極致ともいえる空間を実現されている。

出典：（一社）日本建設業連合会公式ウェブサイト

また今回は、2019年9月、同時期に大規模改修が行われた大倉集古館との一体的な再開発として受賞いたしました。大倉集古館は、1917年ホテルの創業者である大倉喜七郎（1882～1963）の父、大倉喜八郎（1837～1928）が設立した日本初の私立美術館です。国宝3件、重要文化財13件および重要美術品44件を含む美術品約2500件を所蔵しています。

【建築概要】

	The Okura Tokyo	大倉集古館
所在地	東京都港区虎ノ門2-10-4	東京都港区虎ノ門2-10-3
敷地面積	20,442㎡	1,576㎡
建築面積	13,262㎡	459㎡
延床面積	180,905㎡	1,948㎡
階数	地上41階、地下1階、塔屋2階	地上2階、地下1階
構造	地上：鉄骨造、一部コンクリート充填鋼管造 地下：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋 コンクリート造	鉄筋コンクリート造（免震）
建築主	株式会社 ホテルオークラ	公益財団法人 大倉文化財団
設計者	株式会社 谷口建築設計研究所	株式会社 谷口建築設計研究所
	大成建設株式会社	大成建設株式会社
	株式会社 観光企画設計社	株式会社 森村設計
	株式会社 日本設計	
	株式会社 森村設計	
	株式会社 NTTファシリティーズ	
施工者	大成建設株式会社	
竣工日	2019年7月31日	

【全体の特徴】

「海外の模倣ではなく、世界に通じる日本独自のホテル創造」を目指し開業し、日本の伝統美を生かした優美な佇まいを大切に、The Okura Tokyo 開業に際しては、ホテルの象徴であったメインロビーの再現を軸として、「和を継ぐホテル」をコンセプトに新たなレガシーの創造を目指しました。

The Okura Tokyo は、ブランドの異なる2つの高層建築と大倉集古館が共通のエントランス広場「オークラスクエア」を囲むように配置されています。国の登録有形文化財である大倉集古館は、ホテルの建替えと同時に、免震化を含めた地下収蔵庫の増築による保存再生を行いました。

また、都市計画上的特徴としては、「港区公園まちづくり制度」の適用により、2.6haの敷地面積の約半分を緑地や広場として整備している点が挙げられます。3つの坂に囲まれ敷地全体で19mある高低差を活かし、ダイナミックで緑量のある自然空間を形成しています。これらの緑地や広場は地域の憩いや交流の場となるとともに、クールスポットとして地域の環境改善に寄与しています。

■The Okura Tokyo に関するお問い合わせ先

株式会社ホテルオークラ東京 広報担当：松本 / 小栗

TEL : (03)3224-6731 FAX : (03)3224-6727 E-mail : pr@tokyo.hotelokura.co.jp